



個人投資家向け会社説明会

ダイドーグループがめざす2030年の姿と今後の戦略について

ダイドーグループホールディングス株式会社
(東証プライム：2590)

2024年4月13日

01	ダイドーグループホールディングスについて	P.03
02	グループミッション2030	P.09
03	補足資料	P.14

本資料内で記載する計数は百万円未満を切り捨て表示しているため、内訳と合計が合わない場合があります。なお、増減比等は、小数点第1位未満を四捨五入の上、表示しております。

本資料に記載されている、当社グループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の実態に関するもの以外は、将来の業績に関する見通しであり、これらは当社において現時点で入手可能な情報による当社経営陣の判断および仮定に基づいています。従って、実際の業績は、不確定要素や経済情勢その他リスク要因により、大きく異なる可能性があります。また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。



01 ダイドーグループホールディングスについて

会社名 ダイドグループホールディングス株式会社

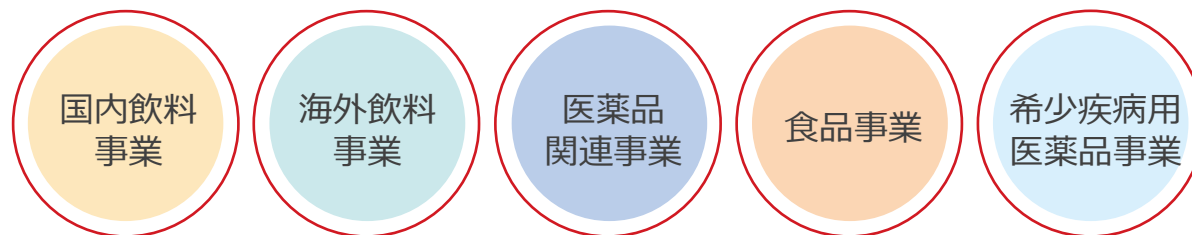
本社所在地 大阪市北区中之島二丁目2番7号

代表者 代表取締役社長 高松富也

会社設立 1975年1月27日

事業年度 毎年1月21日から翌年1月20日まで

事業内容



資本金 1,924百万円

株主数 41,148名

従業員数 5,182名

2024年1月20日現在

代表取締役社長
高松 富也

略歴

2004年4月 入社
2008年4月 取締役就任
2009年4月 常務取締役就任
2010年3月 専務取締役就任
2012年4月 取締役副社長就任
2014年4月 代表取締役社長就任
(現任)



グループ理念

人と、社会と、共に喜び、共に栄える。

その実現のためにDyDoグループは、ダイナミックにチャレンジを続ける。

グループビジョン

- | | |
|---------------------|--|
| DyDoはお客様と共に。 | 高い品質にいつもサプライズを添えて、
「オンリーDyDo」のおいしさと健康をお客様にお届けします。 |
| DyDoは社会と共に。 | グループ全体で生み出す製品・企業活動「オールDyDo」が、
豊かで元気な社会づくりに貢献します。 |
| DyDoは次代と共に。 | 国境も既存の枠組みも越えて、
次代に向けて「DyDoスタンダード」を創造します。 |
| DyDoは人と共に。 | 飽くなき「DyDoチャレンジ」で、
DyDoグループに関わるすべての人の幸せを実現します。 |

ブランドメッセージ

こころとからだに、
おいしいものを。



ブランドメッセージに込めた想い

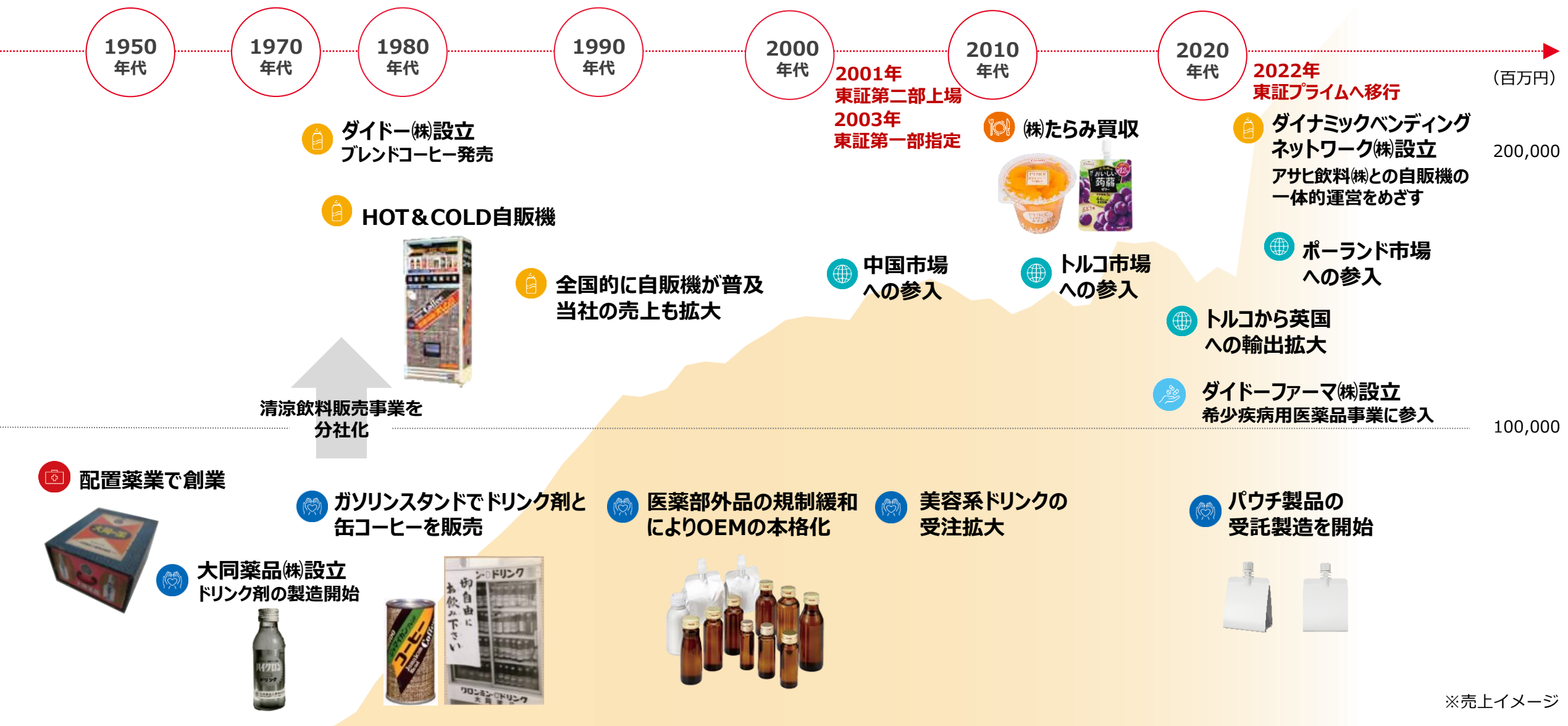
こころが元気なら、からだは動きたくなる。

からだが前向きに動けば、こころはもっと楽しくなる。

DyDoグループは、お客様のこころとからだに、そんな喜びを実現しようと思う。

DyDoグループだからこそ、飲料・食品から薬品まで幅広く、
お客様の楽しく健やかな暮らしのお役に立つことができる。

DyDoグループは思いを一つに、チャレンジとアイデアをもって、
価値のある製品の提供や企業活動を通じて、人に社会に奉仕していきたい。



創業以来、お客様に寄り添い、強みを発揮できる分野に集中した挑戦を続け、事業領域を拡大

国内飲料事業

- ダイードリンコ
- ダイナミックベンディングネットワークなど

自販機ビジネスを磨き、市場で一定のポジションを確立



売上高
1,536億円
(全体の72.0%)

海外飲料事業

- 展開国
- トルコ ● ポーランド
 - 中国 ● イギリス

M&Aによりトルコやポーランドなどの主要国に進出。それぞれの国民に愛されるブランド作りを行う。



売上高
264億円
(全体の12.4%)

医薬品関連事業

- 大同薬品工業

医薬品・医薬部外品のドリンク剤/パウチ製品の受託製造に特化し、トップメーカーへ



売上高
126億円
(全体の5.9%)

食品事業

- たらみ

「フルーツゼリー」に特化ドライゼリー市場トップシェア



売上高
207億円
(全体の9.7%)

希少疾病用医薬品事業

- ダイードファーマ

希少疾病の医療用医薬品の開発・製造を行う



—

*外部顧客に対する売上高（2023年度実績）

02 グループミッション2030

2030年のありたい姿として、2019年1月に策定

世界中の人々の楽しく健やかな暮らしを クリエイトするDyDoグループへ

DyDoはお客様と共に。



お客様の健康をつくります

おいしさへの飽くなき探求心のもと、
世界中のお客様の健康や生活の質向上に
貢献する商品・サービスをお届けします。

DyDoは社会と共に。



社会変革をリードします

持続可能な社会のために、
常識に捉われず、新たな視点から
社会変革を自らリードします。

DyDoは次代と共に。



次代に向けて新たな価値を生み出します

革新的なテクノロジーを活用し、
すべてのステークホルダーに
ワクワクや驚きといった体験を提供します。

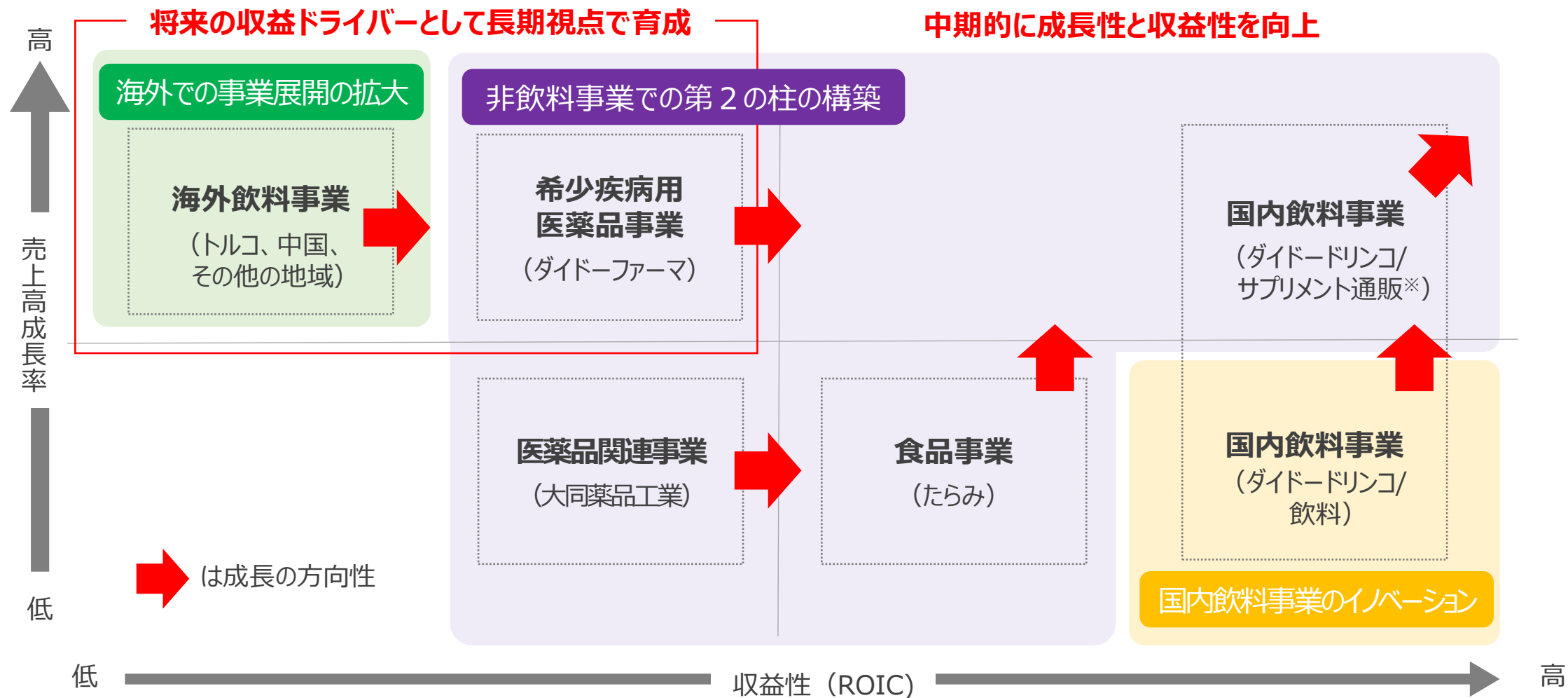
DyDoは人と共に。



人と人のつながりをつくります

グループ内外と柔軟に連携し、
多様な価値観や能力を尊重しながら
新たな共存共栄を推進します。

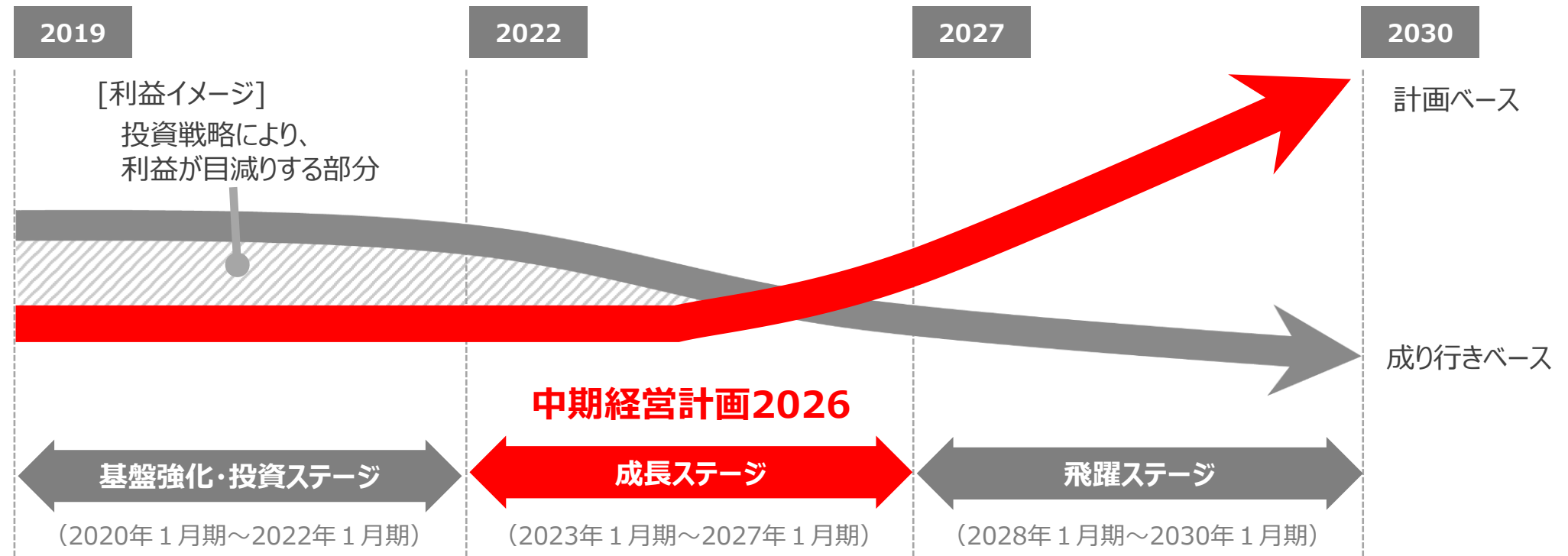
「2030年のありたい姿」の実現に向けて、「国内飲料事業のイノベーション」「海外での事業展開の拡大」「非飲料事業での第2の柱の構築」の3つの基本方針を定め、事業ポートフォリオ戦略を推進



※ サプリメント通販は、ダイドードリンコが育成中の事業のため、会計上の事業セグメントは国内飲料事業に含まれます。

中期経営計画2026では「飛躍ステージ」に向け、3つの基本方針を推進

- 国内飲料事業の再成長
- 海外事業戦略の再構築
- 非飲料領域の強化・育成



こころとからだに、
おいしいものを。



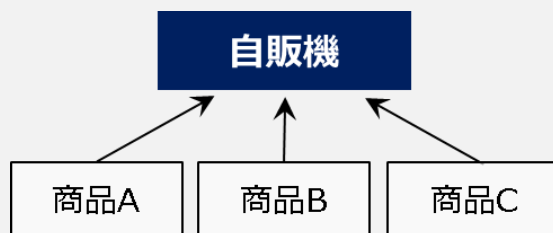


補足資料

当社の国内飲料事業は、自販機が売上の中心を担っており、再成長には欠かせないポイント

特徴① 「自販機を店舗」と位置付ける小売業の発想

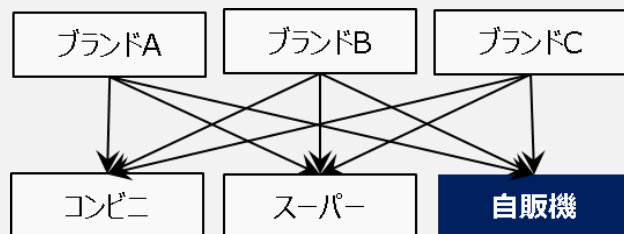
● 当社の考え方



売上高に占める
自販機の割合

約90%

● 一般的な「飲料メーカー」の考え方



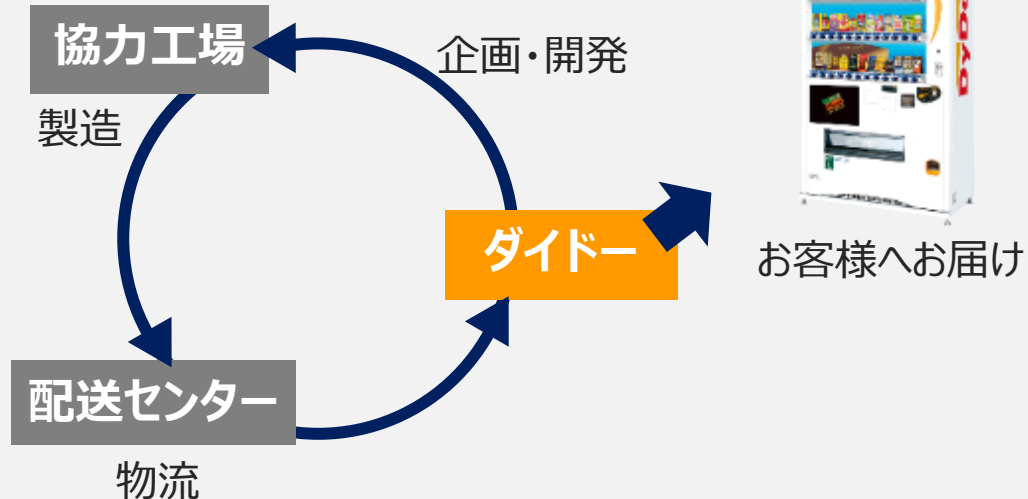
(業界平均)
約20%

出典：全国清涼飲料連合会「清涼飲料水関係統計資料」

環境認識を踏まえ
た今後の課題

- ①お客様との接点(自販機台数・1台当たりの売上高)を増やすこと
- ②労働力が不足する環境でも効率的に運営すること

特徴② ファブレス経営による効率的な事業運営



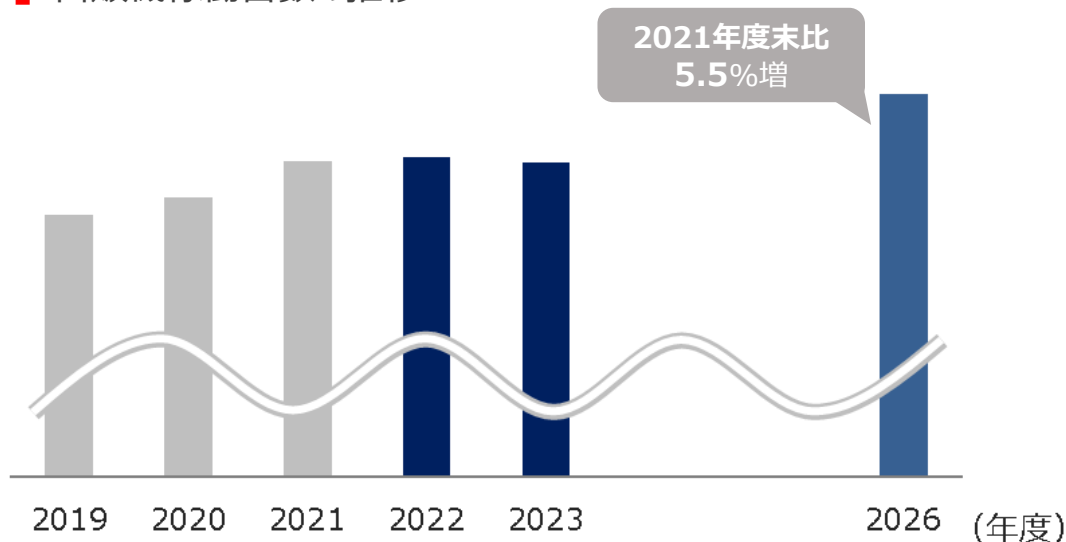
お客様へお届け

売上基盤となる自販機ネットワークの強化を着実に実行

自販機稼働台数の増加

- 2023年度の自販機稼働台数は、期初に低採算先の戦略的な引き上げを実施したことなどにより、前年並みで着地
- 2024年度は優良ロケーションの新規獲得や引き上げの抑制などに取り組み、再度拡大基調に転じる計画

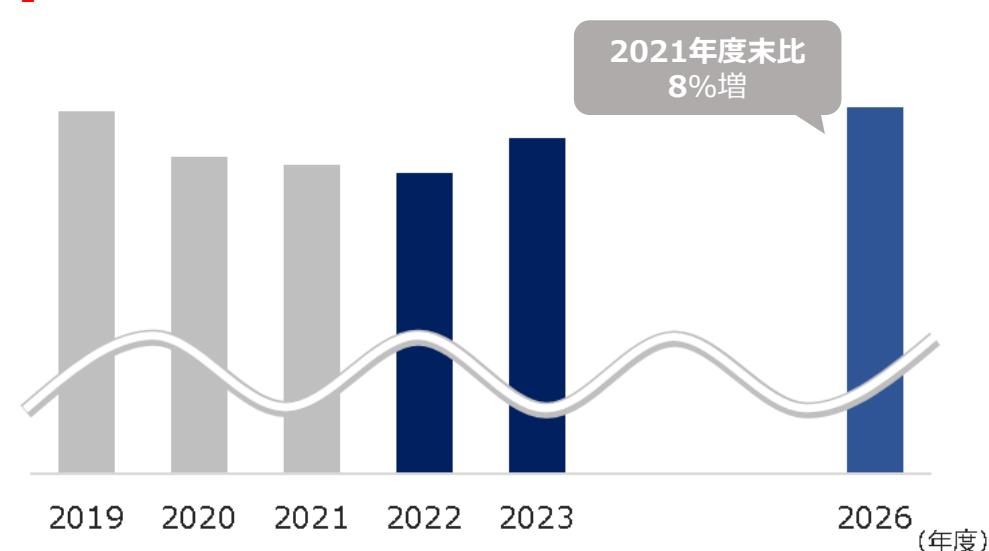
自販機稼働台数の推移



自販機 1 台当たりの売上高の向上

- 2023年度の自販機 1 台当たりの売上高は価格改定による影響で、2021年度に比べて3.7%増
 - 2024年度は、優良ロケーション先の獲得とともに、キャッシュ・レス対応の加速※により、1 台当たりの売上高のさらなる向上をめざす
- ※2026年度までに直販におけるキャッシュ・レス対応比率40%目標

自販機 1 台当たりの売上高の推移



社会の様々な課題に対して自販機を通じて解決をめざす

Drink Pay

(ロケーションオーナーがそれぞれ独自に発行する
専用QRコードを使って決済可能)

健康経営の支援・
利用者満足度の向上



2021年～
約 **350** 台

ベビー用紙おむつ自販機

子育て支援

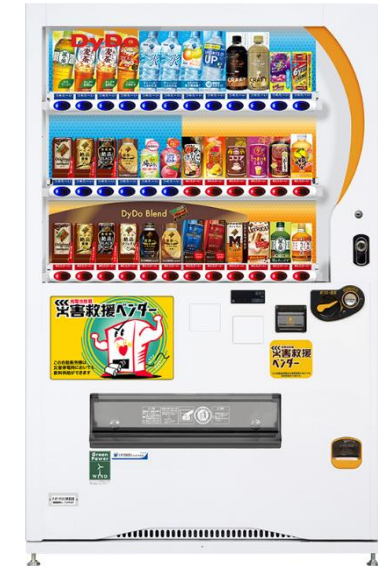


2019年～
約 **500** 台

災害救援自販機

(停電時でも飲料を取り出し可能)

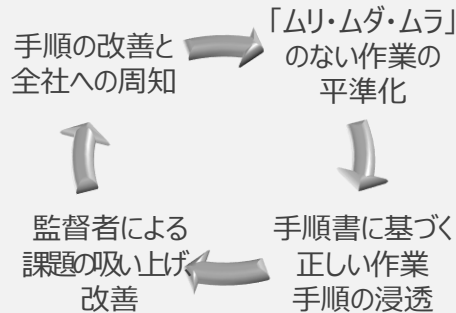
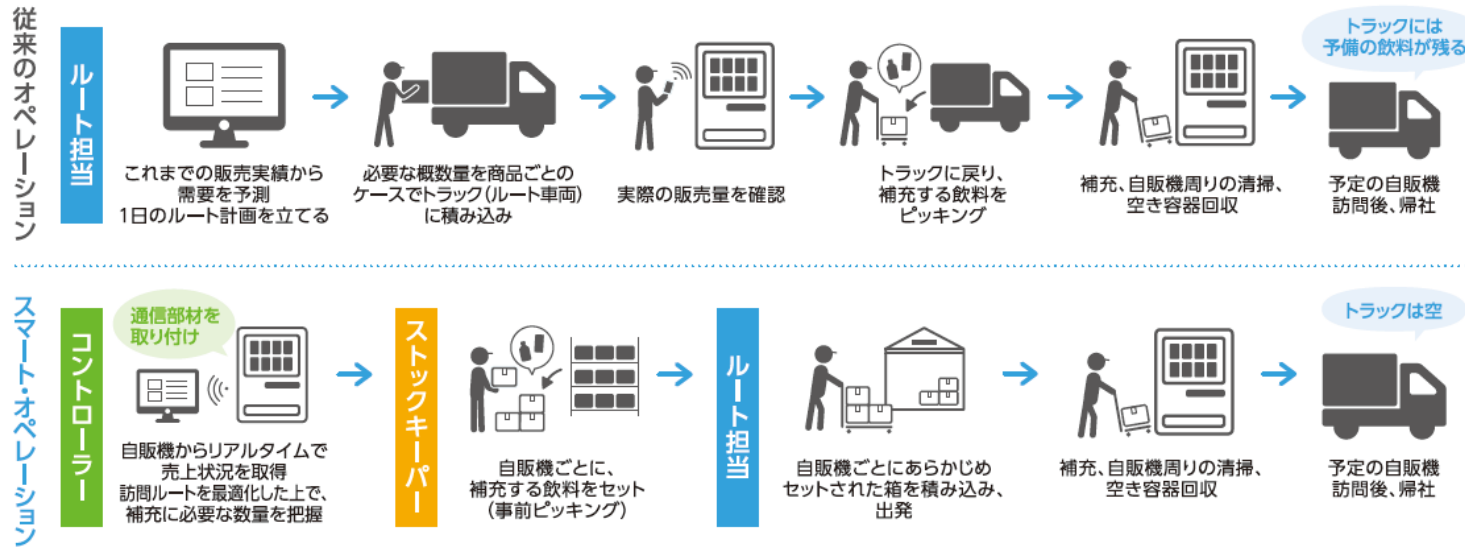
災害支援



2005年～
約 **11,000** 台

デジタル技術を活用した自販機オペレーション体制を展開し、人手不足に対応するほか、提供価値の拡大を図る

スマート・オペレーションによる提供価値拡大に向けた取り組み



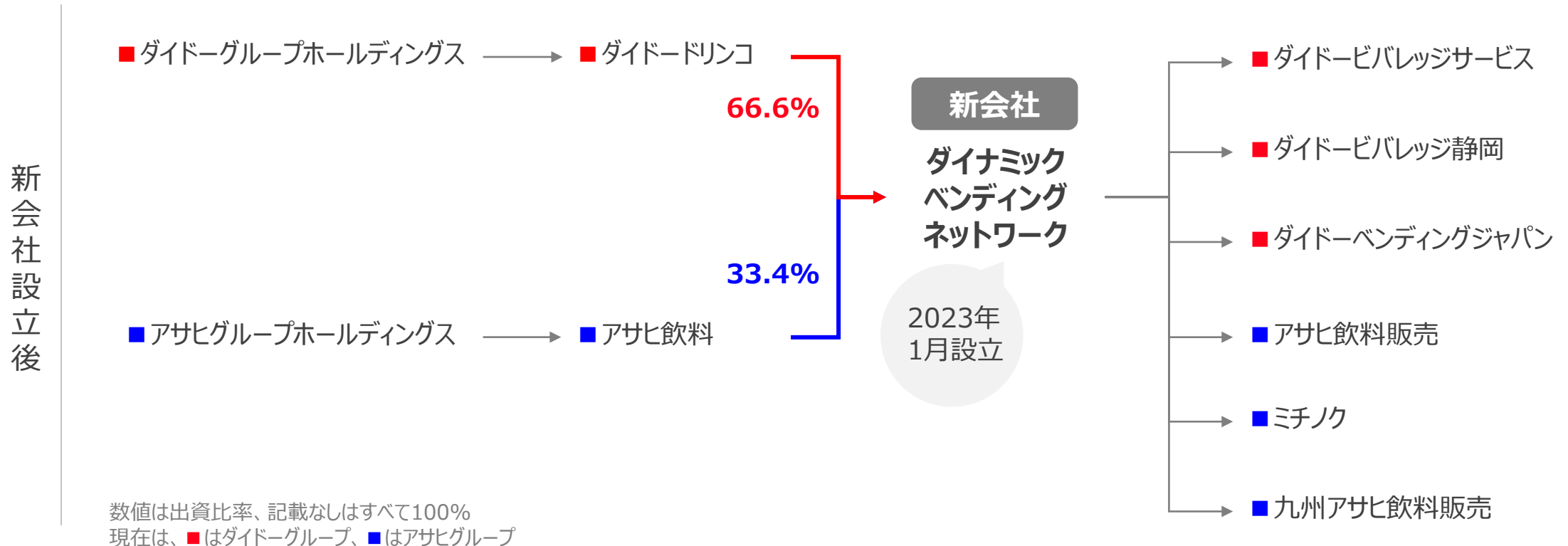
スマート・オペレーション体制の確立による効果

- オンライン化に伴うデータ活用・AI実装による売上の最大化
- 各作業の最適化による業務効率化

当社オペレーション担当者1人当たり売上高が
2021年度比で30%超アップ[※](2023年度実績)

直販事業の一体的運営によるオペレーションシナジーの追求

- 新会社設立により、直販事業の一体的運営を推進する
- ダイドーのスマート・オペレーションを展開し、オペレーションスピードと品質管理能力、生産性を向上する
- 将来的な人手不足、雇用確保という課題を解決する

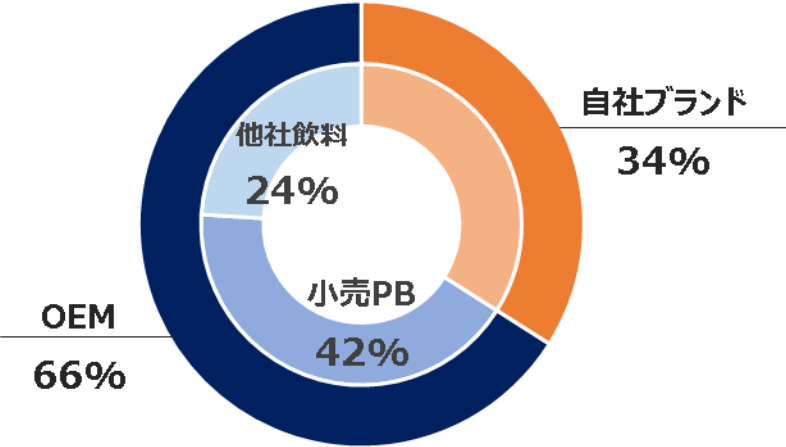


2024年2月、ポーランドで清涼飲料の製造・販売を行うWosana S.A.（ヴォサナ社）の株式を100%取得
海外飲料事業全体の利益基盤の強化を図る

会社概要

名 称	Wosana.S.A	
設 立	1991年	
事 業 内 容	清涼飲料の製造・販売	
所 在 地	ポーランド共和国 マウオポルスカ県	
資 本 金	13,548千ズロチ（約5億円）	
業 績 (2022年度)	売上高： 293,162千ズロチ（約107億円） 営業利益： 12,066千ズロチ（約4億4千万円）	
従 業 員 数	約280名	

業態別売上比率



カテゴリー別売上比率



※1ズロチ=36.8円（2023年12月1日終値）

200株以上の株式を半年以上保有いただいた株主の皆様に6,000円相当の株主優待品を進呈

● 株主優待品

割当基準日	前年 7 月 20 日※	当年 1 月 20 日※
-------	--------------	--------------

※ 2 回連続で同一の株主番号で株主名簿に記載がある方



お届け時期	当年 4 月（予定）
優待品の内容	6,000円相当の 株主優待品

● 5 年以上継続保有記念品（保有年数が 5 年を超えた年に 1 回限り）

割当基準日	7 月 20 日
-------	----------

※ 連続して 11 回以上 12 回以下、同一の株主番号で株主名簿に記載がある方



お届け時期	10 月（予定）
-------	----------

- すべての株主の皆様（割当基準日：1 月 20 日、7 月 20 日）
グループ企業の商品をご優待価格で販売



※ 写真は 2024 年度の 6,000 円相当の株主優待品



国内飲料事業における子会社増加効果、海外飲料事業における増収が寄与し、大幅増収
国内飲料事業の価格改定効果、海外飲料事業の収益性改善が寄与し、大幅増益

単位：百万円

				通期							
				2022年度		2023年度				(ご参考) 超インフレ会計適用前 影響額	
					構成比		構成比	増減率	増減額		
売	上	高		160,130	100.0%	213,370	100.0%	33.2%	53,239	213,453	△83
営	業	利	益	707	0.4%	3,732	1.7%	427.9%	3,025	5,065	△1,332
経	常	利	益	591	0.4%	3,115	1.5%	426.5%	2,523	4,078	△962
親会社株主に帰属する 当期純損益				△507	△0.3%	4,423	2.1%	－	4,930	4,130	292
E	P	S	※	△16.20円		140.77円		156.97円			

※2024年1月21日付けで1:2の株式分割を行っており、2022年度期首に株式分割が行われたと仮定して算出

個人投資家の皆様向けウェブページでも
詳しくご紹介しています。ぜひご覧ください！

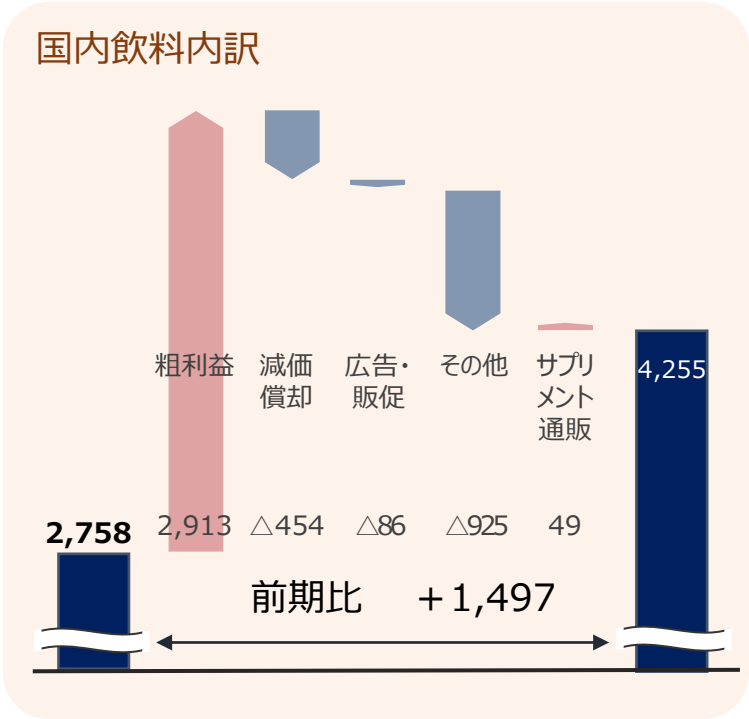
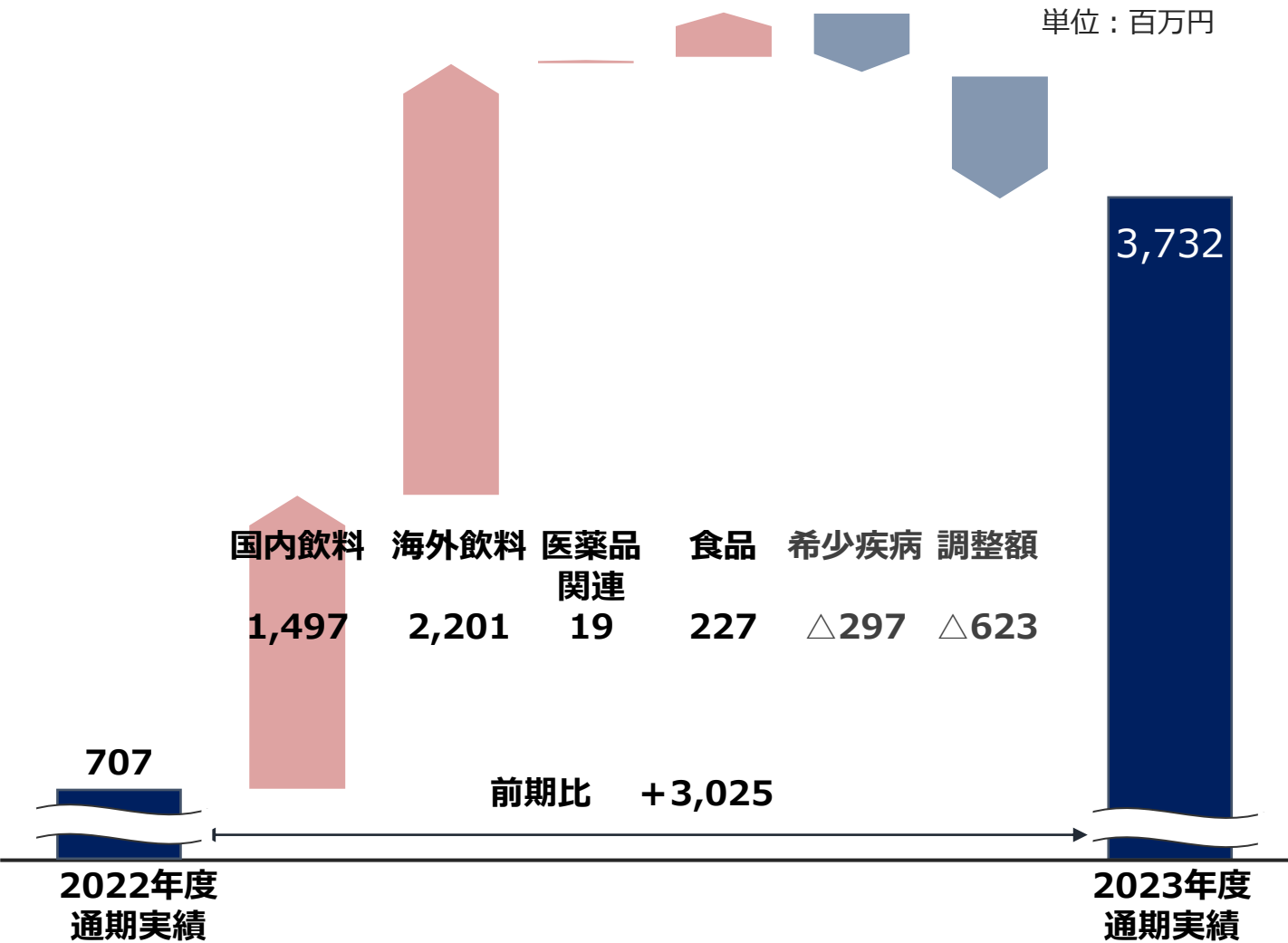
ダイドグループホールディングス株式会社 | 直近の業績をみよう
<https://www.dydo-ghd.co.jp/individual/performance/>



単位：百万円

	通期							
	超インフレ会計適用後				超インフレ会計適用前			
	2022年度	2023年度	増減率	増減額	2022年度	2023年度	増減率	増減額
国内飲料事業	109,770	153,623	39.9%	43,853	109,770	153,623	39.9%	43,853
海外飲料事業	18,909	26,444	39.9%	7,535	18,339	26,527	44.6%	8,188
医薬品関連事業	12,522	12,963	3.5%	440	12,522	12,963	3.5%	440
食品事業	19,565	20,705	5.8%	1,139	19,565	20,705	5.8%	1,139
希少疾病用医薬品事業	—	—	—	—	—	—	—	—
調整額	△636	△ 366	—	270	△636	△ 366	—	270
売上高合計	160,130	213,370	33.2%	53,239	159,561	213,453	33.8%	53,892
国内飲料事業	2,758	4,255	54.3%	1,497	2,758	4,255	54.3%	1,497
海外飲料事業	△1,091	1,110	—	2,201	52	2,442	4513.4%	2,389
医薬品関連事業	347	367	5.7%	19	347	367	5.7%	19
食品事業	765	993	29.7%	227	765	993	29.7%	227
希少疾病用医薬品事業	△499	△ 796	—	△297	△499	△ 796	—	△297
調整額	△1,573	△ 2,197	—	△623	△1,573	△ 2,197	—	△623
営業利益合計	707	3,732	427.9%	3,025	1,851	5,065	173.6%	3,213

国内飲料事業における売上総利益の改善や、海外飲料事業における収益性の改善が連結の増益を牽引



※「粗利益」「減価償却」「広告・販促」にはアサヒ飲料旧傘下の
子会社 3 社の実績を含まない
「その他」にはアサヒ飲料旧傘下の子会社 3 社の業績などを計上

2024年度 通期連結業績予想（セグメント別）

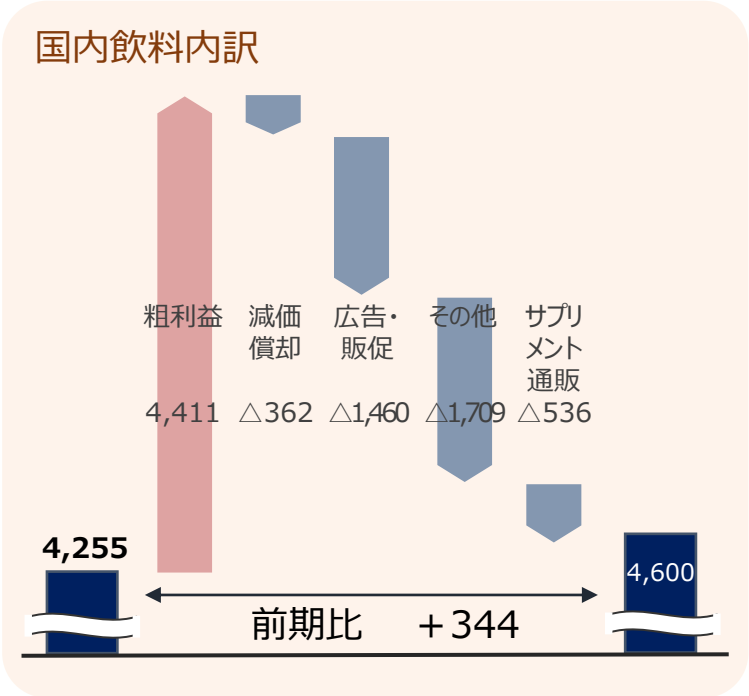
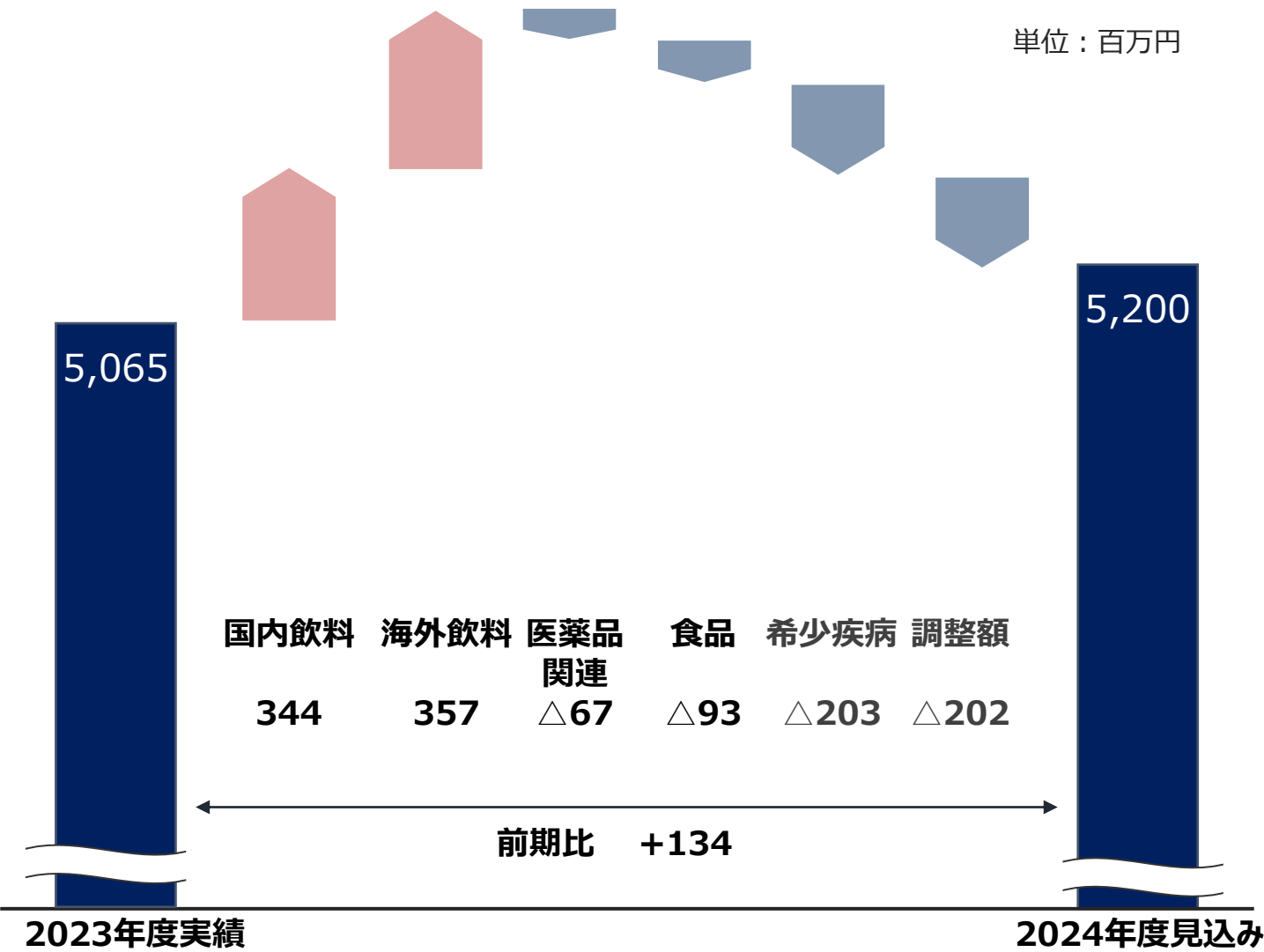
2024年3月1日開示
通期決算資料より抜粋



単位：百万円

	超インフレ会計適用後	(ご参考) 超インフレ会計適用前			
	通期	通期			
	2023年度実績	2023年度実績	2024年度見込み		
				増減率	増減額
国内飲料事業	153,623	153,623	157,300	2.4%	3,676
海外飲料事業	26,444	26,527	44,600	68.1%	18,072
医薬品関連事業	12,963	12,963	13,600	4.9%	636
食品事業	20,705	20,705	21,200	2.4%	494
希少疾病用医薬品事業	—	—	—	—	0
調整額	△366	△366	△500	—	△133
売上高合計	213,370	213,453	236,200	10.7%	22,746
国内飲料事業	4,255	4,255	4,600	8.1%	344
海外飲料事業	1,110	2,442	2,800	14.6%	357
医薬品関連事業	367	367	300	△18.4%	△67
食品事業	993	993	900	△9.4%	△93
希少疾病用医薬品事業	△796	△796	△1,000	—	△203
調整額	△2,197	△2,197	△2,400	—	△202
営業利益合計	3,732	5,065	5,200	2.7%	134

国内飲料事業における売上総利益の改善と海外飲料事業におけるヴォサナ社の利益貢献を見込む



※「粗利益」「減価償却」「広告・販促」にはアサヒ飲料旧傘下の
子会社 3 社の実績を含まない。
「その他」にはアサヒ飲料旧傘下の子会社 3 社の業績などを計上。